

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
3	本杉宏志 弘田隆彦 伊藤循	詳説日本史 (山川出版社) 資料日本史 (東京法令出版) 新詳日本史 (浜島書店) 日本史総合テスト (山川出版社)
○必修 学校必修 必修選択 自由選択		

◆学習の目標

- ・日本の歴史を世界史的視野に立って、総合的に理解する。
- ・歴史的見方・思考力を育み、歴史に起因する様々な問題に対し主体的に考えることのできる日本人としての資質を養う。

◆主な学習内容・方法

<内容>

(1) 明治維新と立憲体制の成立 (2) 国際関係の推移と立憲国家の展開 (3) 近代産業の発展と近代文化 (4) 政党政治の発展と大衆社会の形成 (5) 第一次世界大戦と日本の経済・社会

<方法>

- (1) 資(史)料の分析及び読解に基づく考察を交えて学習する。
- (2) 必要に応じて、ビデオ・DVDなどの教材も使用する。

◆到達目標と評価の観点

[標準]

- ・幕末～昭和初期の歴史的諸事象の内容を正確に理解し、時系列上での確に把握する。
- ・事象の内容や事象間の因果関係を的確・簡潔に表現する。

[応用]

- ・様々な歴史的事象を総合し、長期にわたる歴史像や特定テーマに関する歴史像を構築して表現する。

[評価の観点]

「知識・理解」「資(史)料活用力・的確で簡潔な表現力」「思考力・判断力」を評価する。

◆評価の方法

- ・主に定期考査によって評価し、学力テストや平常の授業への取り組みを加味して、総合的に評価する。

◆年間予定授業時間

予定時数	105時間	1学期(39時間)	2学期(42時間)	3学期(24時間)
------	-------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<ul style="list-style-type: none"> 予習の段階では、教科書を通読し、歴史の流れの大筋をつかんでおく。復習では、授業の内容を整理し、ノートを完成させる。 単元の終了時、考査前には、問題練習を行い、理解度を把握する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	開国と幕末の動乱	1 0	開国 幕府滅亡	<ul style="list-style-type: none"> 前近代の鎖国下の対外関係を正しく捉える。 列強の圧力と日本国内諸勢力の運動の連関を捉える。 明治政府による改革やその意味について考察する。
	5	明治維新と富国強兵	1 4	中央集権体制の成立 身分制・兵制の改革 近代的経済制度の整備	
	6	立憲国家の成立と日清戦争	1 5	明治初期の外交 新政府への反抗 自由民権運動／憲法の制定	
	7			初期議会／条約改正 日清戦争／政党の進出	
2 学期	8	日露戦争と国際関係	1 2	日露戦争 戦後の国内動向と大陸進出	<ul style="list-style-type: none"> 日本の国際的な地位の上昇と国内政治との関係を考察する。 日本の産業革命の進行について、各産業の特色を考察する。
	9				
	10	近代産業の発展	1 6	資本主義の成立 社会運動の展開	
	11	第一次世界大戦と日本	1 4	第一次護憲運動と大正政変 シベリア出兵と米騒動 世界大戦と日本経済	
3 学期	1	ワシントン体制	2 4	ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成 政党政治の成立 大正デモクラシー	<ul style="list-style-type: none"> 協調外交下の国際関係や国内政治の動向を考察する。
	2				
	3				